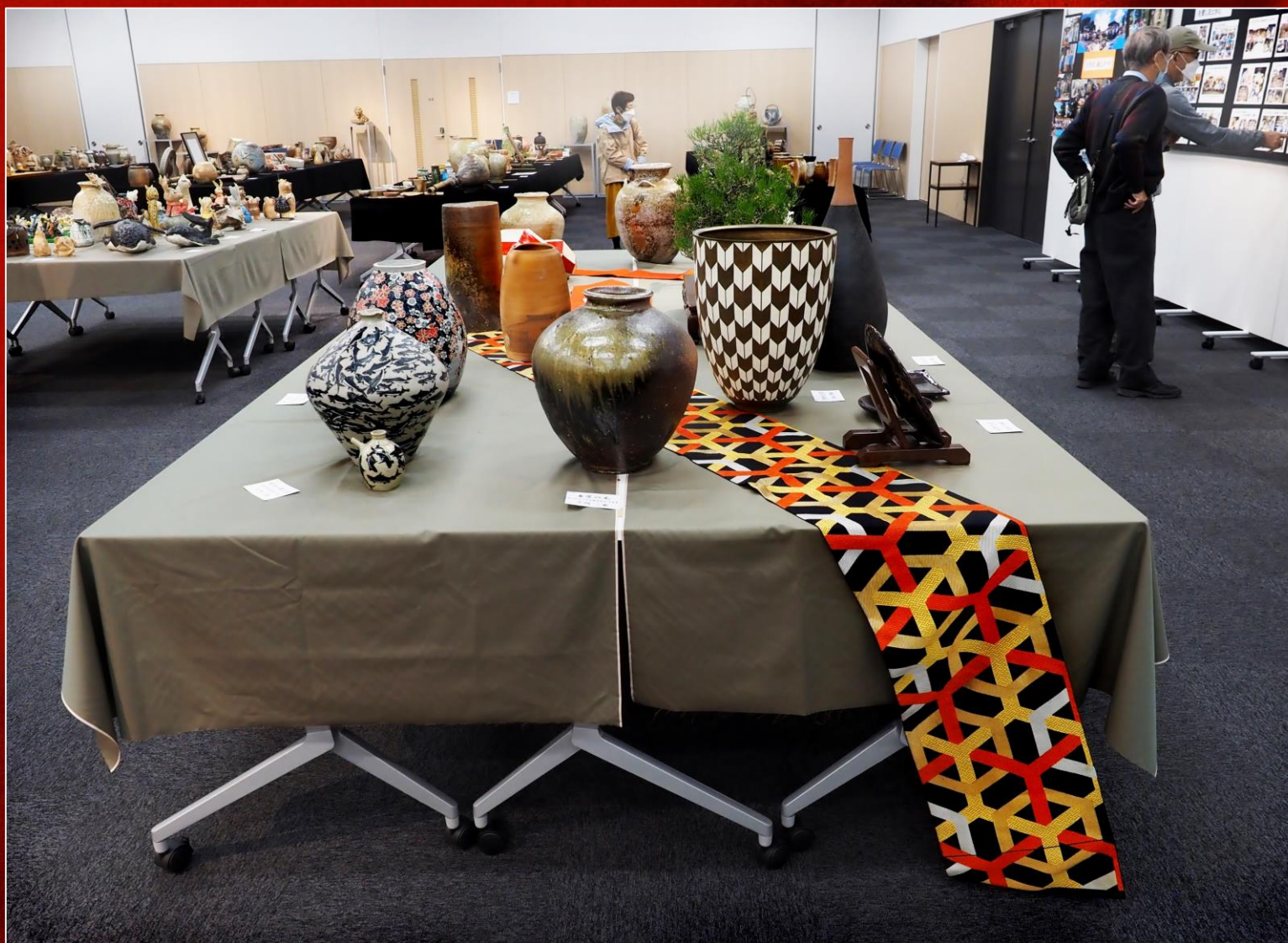


設立23年【記念展】

# 山寺天井窯 第10回作品展



2021年11月5日～8日

キラリエ草津6階大会議室



# KirariE



## 山寺天井窯 第10回 陶芸作品展



会場：キラリエ草津 6階大会議室  
(市民総合交流センター) 草津市大路2丁目1-35 ☎077-561-7700  
JR草津駅から東へ徒歩約5分

会期：2021年11月 5日(金)～8日(月)  
10:00～17:00 ただし、5日(金)は13:00から  
8日(月)は14:00まで

● 入場無料 ● 駐車場あり(4時間無料処理)

後援：草津市教育委員会 ● 問い合わせ先：亀山 090-2114-3925

今回の作品展は山寺天井窯設立から23年と、作品展10回目を祝う記念展として開催しました。

会場は5月にオープンしたばかりのキラリエ草津6階大会議室で、413㎡の真っ白いフロアは記念展にふさわしいスペースでした。うれしいことに白井夫妻と現会員60名全員が作品を出展しました。

秀作、自信作、力作を各自のブースに工夫を凝らして展示。特別展示と併せて、その出品総数は800点近くにもなり来場者を驚かせました。

また、2年間続くコロナ禍の中で企画を進めましたが、幸い収束に向かい、4日間で650名に及ぶ方々にご来場いただけたのも喜びでした。ゆったりと作品を鑑賞し、会員と談笑される姿が散見される会場はサロンのようで、作品展が交流と出会いの場でもあることを実感した4日間でした。





## 山寺天井窯 第10回 作品展 出展者名簿

小林 武男	石黒 丈雄	山屋 多津男	中西 徹	宮本 浩一
山内 厚太郎	了戒 信善	藤井 建	杉原 公嗣	岩田 和彦
老原 恒男	玉山 国雄	小野 猛彦	杉原 真知子	大西 隆夫
渡邊 安之	小泉 智子	栗田 昇	山崎 由弘	本多 浩
松村 喬	山中 邦枝	白井 万蔵	大崎 三蔵	山本 恵司
鯛中 昌夫	田辺 賛司	白井 貴美子	早川 義明	田中 仁一郎
内藤 春生	内藤 大次郎	島田 隆司	大西 雄治	藤本 義隆
日江井 茂子	家島 健二	豊田 健次	浅野 秀二	松田 良男
河嶋 文雄	鈴木 明	芦田 宏	梶本 宰輔	植田 豊一
上田 操	亀山 洋子	豊田 善久	田中 悦子	三好 信也
三上 善弘	片倉 茂己	小野 夕二子	山本 文子	
山村 睦子	橋本 幸子	小森 茂治	宮下 康子	
加地 景子	長谷川 孝徳	山田 豊	西畑 晴美	

# 小林 武男



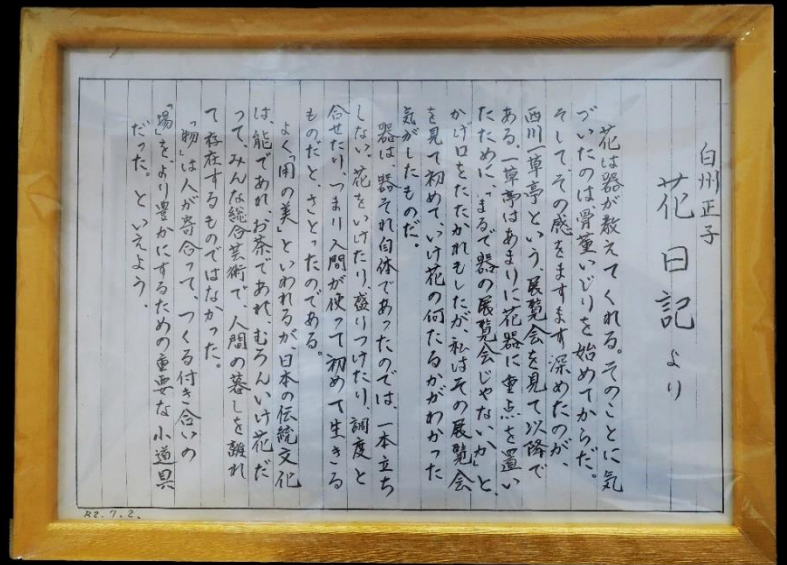


老原 恒男





# 渡邊 安之



松村 喬



# 鯛中 昌夫



蕎麦打ちに  
大好きです  
大勢で打つと  
楽しいのです  
作陶も同じです  
蕎麦打ちに  
自作道具を  
使うと楽しさ  
倍増です  
陶芸も  
同じです



内藤 春生



日江井 茂子



河嶋 文雄



上田 操



三上 善弘





山村 睦子



# 加地 景子



石黒 丈雄



了戒信善



玉山 国雄



小泉 智子



山中 邦枝



# 田辺 賛司







家島 健二





龜山 洋子



片倉 茂己



橋本 幸子



長谷川 孝徳



# 山屋 多津男





藤井 建



小野 猛彦



栗田 昇

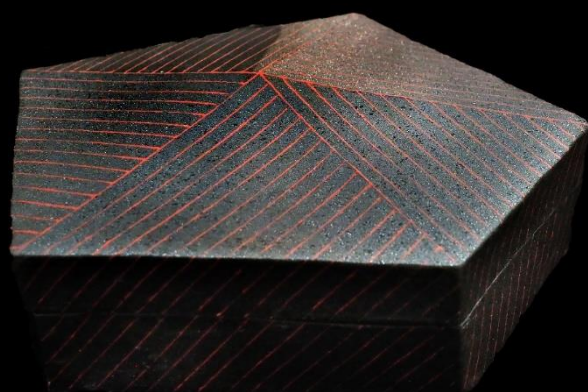


白井 万蔵





島田 隆司



豊田 健次



芦田 宏







小野 夕二子



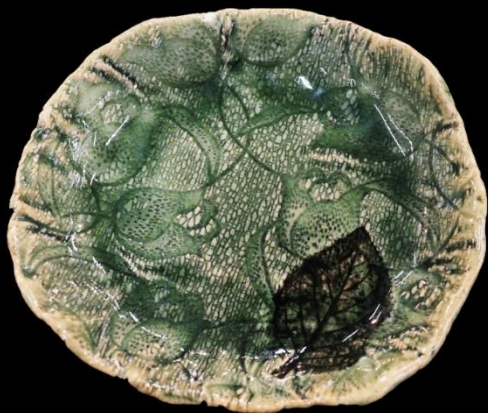
小森 茂治



山田 豊



中西 徹



杉原 真知子、杉原 公嗣



山崎 由弘



# 大崎 三巖

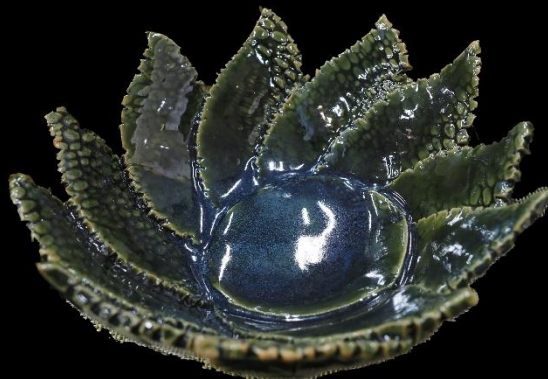




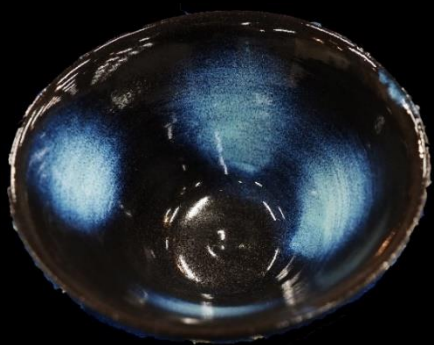
大崎 三巖







浅野 秀二



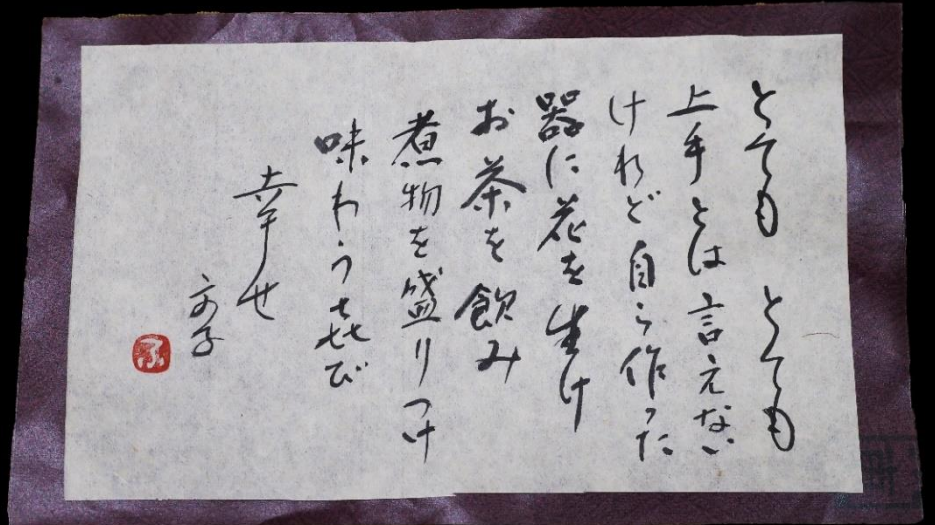
相本 宰輔



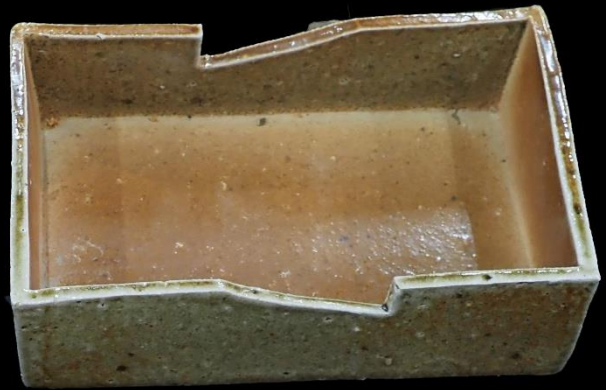
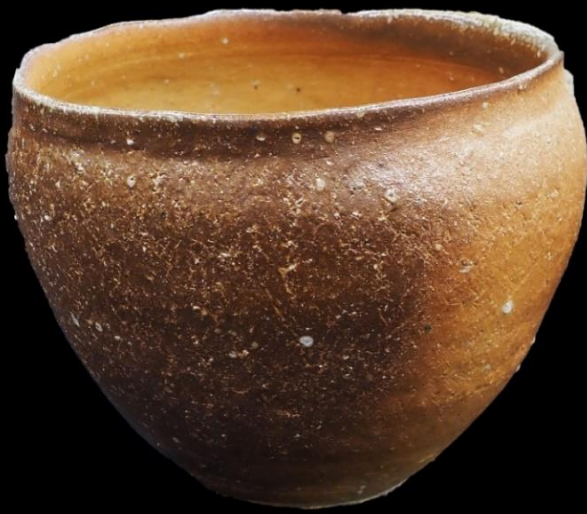
田中悦子



# 山本 文子



宮下 康子







宮本 浩一





# 大西 隆夫



本多 浩



山本 恵司





藤本 義隆





# 松田 良男



品目	数量	材質	形状	用途
1. 丸底	1	土	丸底	貯蔵
2. 丸底	1	土	丸底	貯蔵
3. 丸底	1	土	丸底	貯蔵
4. 丸底	1	土	丸底	貯蔵
5. 丸底	1	土	丸底	貯蔵
6. 丸底	1	土	丸底	貯蔵
7. 丸底	1	土	丸底	貯蔵
8. 丸底	1	土	丸底	貯蔵
9. 丸底	1	土	丸底	貯蔵
10. 丸底	1	土	丸底	貯蔵
11. 丸底	1	土	丸底	貯蔵
12. 丸底	1	土	丸底	貯蔵
13. 丸底	1	土	丸底	貯蔵
14. 丸底	1	土	丸底	貯蔵
15. 丸底	1	土	丸底	貯蔵
16. 丸底	1	土	丸底	貯蔵
17. 丸底	1	土	丸底	貯蔵
18. 丸底	1	土	丸底	貯蔵
19. 丸底	1	土	丸底	貯蔵
20. 丸底	1	土	丸底	貯蔵



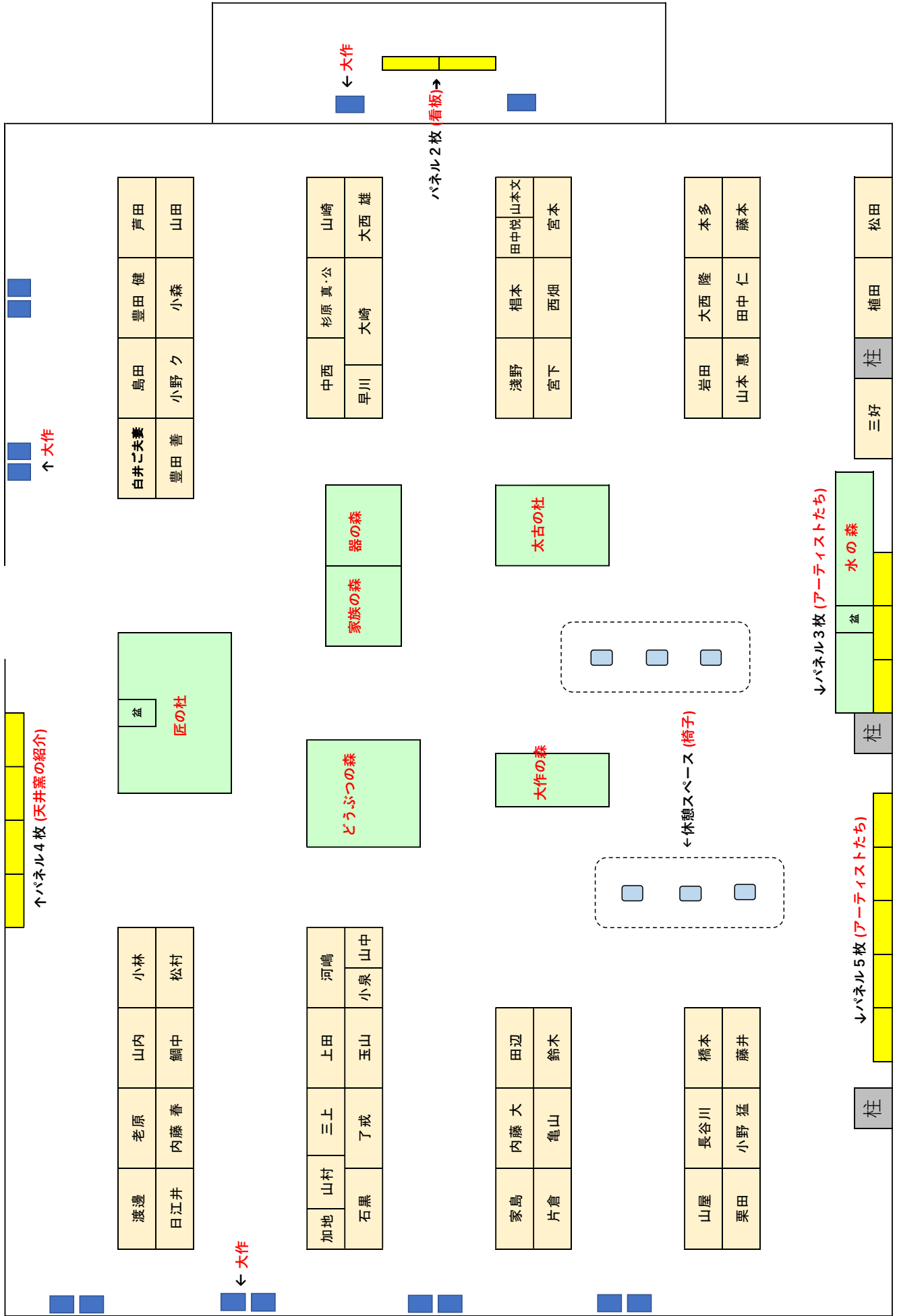
植田 豊一



三好 信也



# 会場レイアウト図



# 特別展示

記念展の企画として、作品のテーマを決めて興味のある会員が参加する【特別展示コーナー】を設定、作り手の会員も創作意欲を刺激され、見る方にも楽しんでいただける、そんなテーマを選びました。



## 匠の杜

陶芸の技法、芸術性に優れた作品です。県展や市展で入選入賞した作品も多く出展されました。出展者=家島、石黒、大崎、小林、梶本、宮本



## どうぶつの森

好きな動物を作りたくなる、出展者が一番多いテーマでした。

出展者=浅野、家島、石黒、上田、老原、山屋、小野猛、小森、梶本、豊田健、内藤大、中西、大西雄、了戒、渡邊



## 家族の森

会員の家族に陶芸に親しんで欲しいと企画、お孫さんの微笑ましい作品が並んで会場の雰囲気もファミリーになりました。出展者=浅井祐花、安土慶、池田悠人・拓真、中村優心・心奏、山本愛佳、吉野樹、渡邊幸



## 器の森

天井窯の穴窯、灯油窯、楽焼窯で焼成された茶碗です。それぞれの良さがありました。出展者=家島、渡邊、片倉、梶本、鯛中、玉山、山屋、内藤大、山本文、小野猛、大西雄



## 大作の森

穴窯のメインスペース「火袋大」で焼いた作品が多く作者の力作です。出展者=家島、石黒、大西雄、大西隆、小野猛、亀山、梶本、豊田健、内藤春、中西、山崎



## 太古の杜

縄文、弥生時代の土器や土偶をテーマに焼き方や釉薬も工夫しました。出展者=家島、大西雄、小野ク、小野猛、亀山、小森、鯛中、内藤春、西畑、山崎、山屋



## 水の森

盆栽や水琴窟、水鉢の作品。組盆栽がかもし出す静謐さは大人を魅了し泳ぐメダカは子供を魅了しました。出展者=梶本、長谷川、山屋

## アーティストたち

会員の絵画と工芸作品を展示。2名の奥様も優品を出展くださいました。出展者=岩田、上田、小野猛、河嶋美舟、豊田京子、西畑、藤井、山崎



梶本 幸輔



小林 武男

家島 健二



小林 武男



大崎 三巖



宮本 浩一



石黒 丈雄

# どうぶつの森



家島 健二



ファミリー  
石黒 大雅



山屋 多津男



了戒 信善



浅野 秀二

上田 博

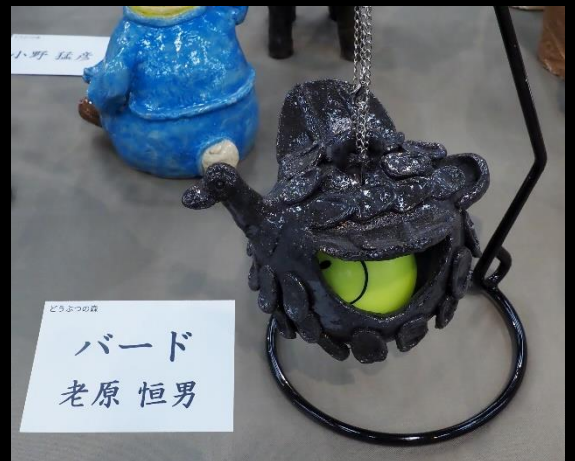


ナマスアンコウハゼ  
樫本 幸輔



オニグルマオコゼ  
中西 徹





# 家族の森





家族の森  
山本愛佳  
(小2)  
上野塚さんのお孫さんです



家族の森  
家を守るシーサー  
渡邊 幸  
渡邊さんのお孫さんです



家族の森  
中村 優心  
中村 心奏  
上野塚さんのお孫さんです

私のひみつで  
そぞろする家  
kakona 窯

# 器の森



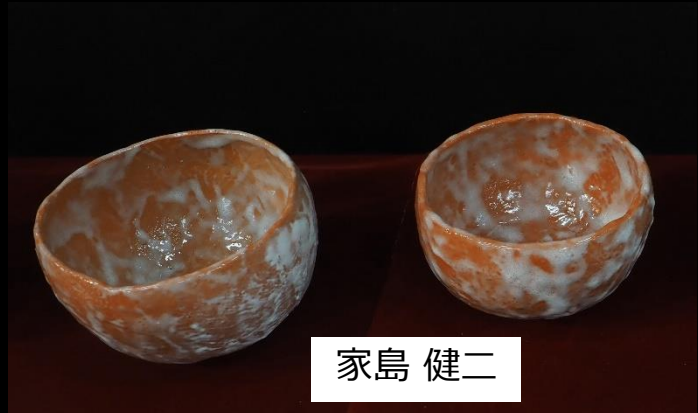
梶本 幸輔

大西 雄治

玉山 国雄

小野 猛彦

鯛中 昌夫



家島 健二



大西 雄治

玉山 国雄



梶本 幸輔



梶本 幸輔



小野 猛彦

鯛中 昌夫



内藤 大次郎

山屋 多津男

山本 文子



山屋 多津男



山本 文子



片倉 茂己

内藤 大次郎



渡邊 安之

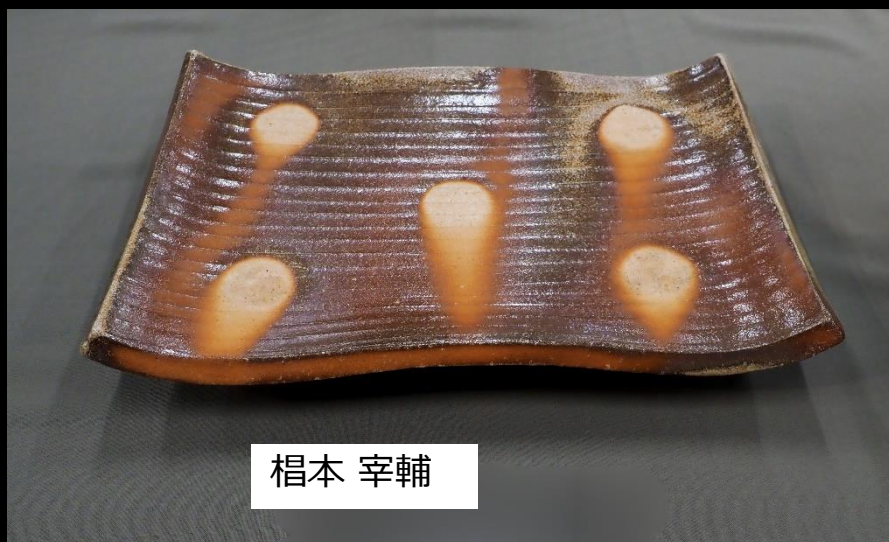
# 大作の森



梶本 幸輔



家島 健二



梶本 幸輔



内藤 春生



大西 隆夫



中西 徹



大西 隆夫



石黒 丈雄



石黒 丈雄



梶本 宰輔



中西 徹



石黒 丈雄



豊田 健次



豊田 健次





小野 猛彦



亀山 洋子

大西 雄治



山崎 由弘

# 太古の杜







壺水車（五葉松）：長谷川 孝徳



水盤飾（浮御堂・真柏）：長谷川 孝徳



メダカ鉢（赤松）：長谷川 孝徳

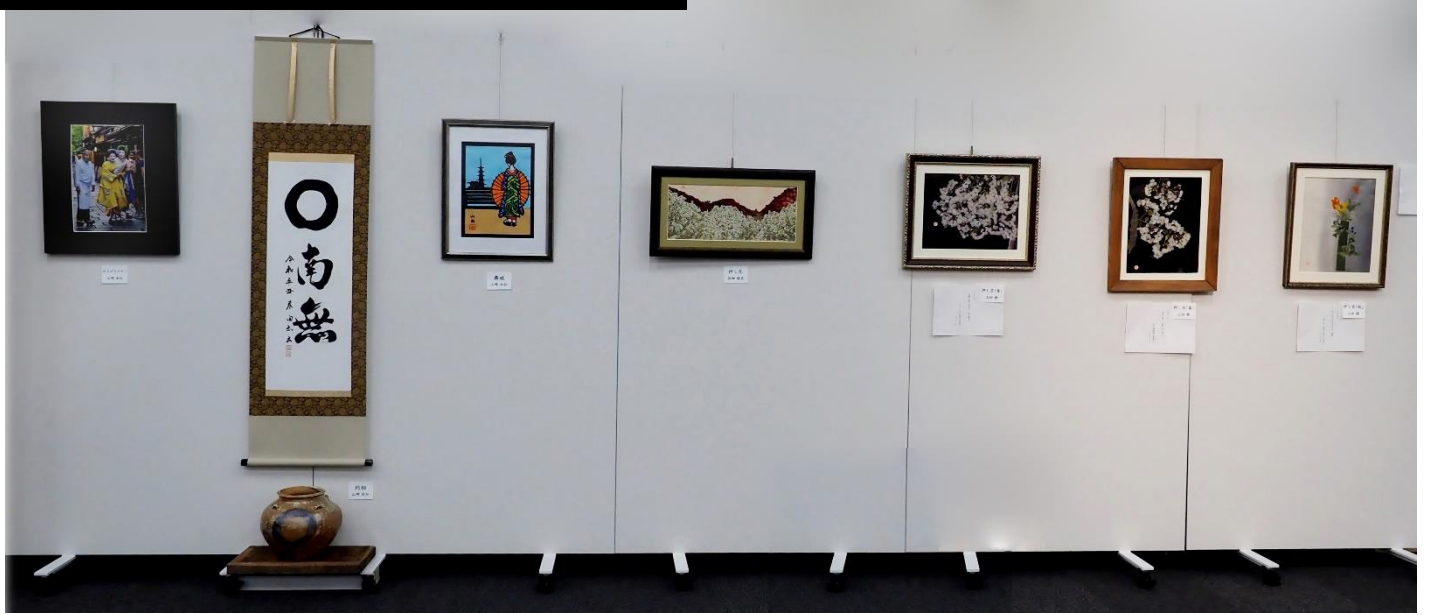


水琴窟：梶本 宰輔



メダカ鉢：山屋 多津男

# アーティストたち



書「円相」：山崎 由弘



画「雪景色」：岩田 和彦



木彫：小野 猛彦



切り絵「舞妓」：山崎 由弘



竹灯籠：藤井 建



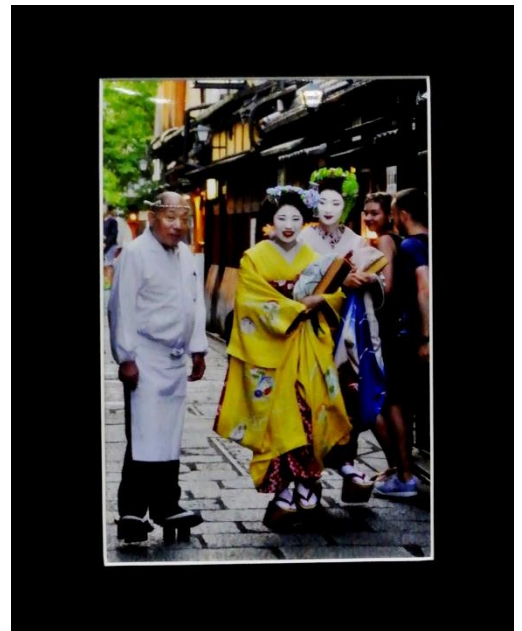
七宝「煌く」：豊田 京子



画「瀬田唐橋」：河嶋 美舟



押し花：西畑 晴美



写真「おきばりやす」：山崎 由弘



押し花3点：上田 操

# 設立23周年を記念して 天井窯の紹介パネルを展示

## 天井窯の生い立ち

本日はご来展いただき誠にありがとうございます。

山寺天井窯同好会は1998年6月に白井万蔵・貴美子夫妻を中心にレイカディア大学陶芸学科20期生20名によって設立されました。



白井万蔵・貴美子夫妻

竹藪の整地から始め、作陶室や焼成室の建設、穴窯の築窯と灯油窯・電気窯の設置、そして県内の山から木を切り出して薪割りに汗を流し、1年1か月後の1999年7月に穴窯の初焼成を行いました。

それから23年、延べ126名の会員が在籍して陶芸に親しみ、仲間と共に技法の研鑽に取り組みながら交流を深める場となっています。

隔年開催してきました作品展も今回で10回目となり、記念展として「キラリエ草津」の大会議室で開催します。

【特別展示コーナー】ではテーマごとに創意ある作品を展示しています。2年間の成果を展示した【個人の展示コーナー】と併せてご高覧いただければ幸いです。



# 1998年6月設立から 穴窯初焼成まで

⑦ 1999年7月 初窯の窯入れ・火入れ式



④ 1998年2月～  
県内の山で木を伐採し、薪をつくる



① 1998年6月 竹藪を切り開き整地をする



⑤ 1999年4～6月 穴窯の築窯工事



② 1991年1月 厳かに地鎮祭



⑧ 1999年7月 初窯出し、  
大西忠左顧問による講評



⑥ 1999年5月 初作陶、そして初素焼き



③ 1999年6月 建物と設備が完成



## 冊子「山寺天井窯の歩み」を制作

山寺天井窯陶芸同好会は1998年に設立され、今年で23年を迎えました。その歴史を記録しておきたいと考え、第10回作品展の開催に合わせて「山寺天井窯の歩み」を制作しました。

白井夫妻が陶芸の場創設を考えられてから穴窯初焼成までの2年間を、懐かしい写真で再現。23年間のイベントと活動をまとめた年表も添付。22ページの小冊子ですが、山寺天井窯の歩みと会が大切にしてきた〈結〉の心を記しています。



# それから23年、陶芸 を愛し友と歩む

④ 土をひねり、薪をつくる

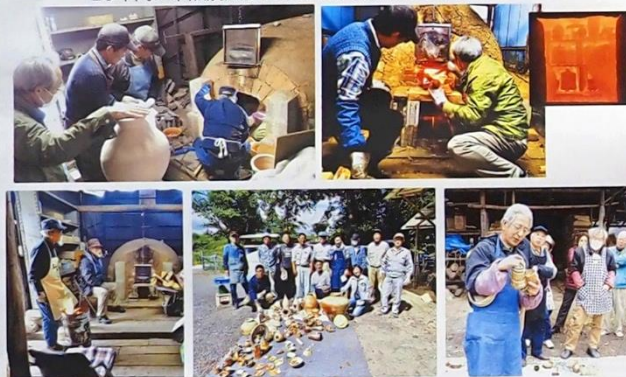


① 2000年から5年間、  
信楽セラムミックアートのフリーマーケットに出店



⑤ そして焼く、それが一番の楽しみ

23年間に本窯焼成を72回、わがまま窯で85回焼成しました



② 2003年から隔年で陶芸作品展を開催



2007年5月 第3回陶芸作品展の集合写真

⑥ 忘年会/新年会、親睦旅行など



③ 天井窯は昔も今もやすらぎの場所



モニュメント

憩いの場



10月8日窯出しの日



# 会場風景





## 【お持ち帰りコーナー】が好評でした

来場者に喜んで頂きたいと、受付の横に「お持ち帰りコーナー」を設置しました。会員が手持ちの作品の中から、軽くて小さくて、ちょっと使ってみたい素敵なものを供出。男性はお気に入りのぐい呑みをポッケに、皿かコーヒーカップかを迷う女性などのうれしい光景があり、品切れを心配して何人もの会員が連日作品を補充するという、嬉しい悲鳴となりました。

































創設メンバーの三上さんと小林さんに感謝の花束贈呈



# 作品展向け窯出し

山寺天井窯・陶芸同好会



山寺天井窯同好会のメンバー

山寺天井窯は23年前、白井万蔵、貴美子夫妻を中心にレイカディア大学同期生20人によって設立された陶芸同好会。今も70歳代のメンバーを中心にシニアが陶芸に親しみ、仲間作りができる場として活動している。

特徴は信楽焼と同じ、松の薪で5日4晩焼く穴窯。8時間交代で会員が焼き続けることで、会員のつながりも一挙に深まるという。

11月5日から8日まで、2年に1度開いてきた陶芸作品展を披露する「第10回陶芸作品展」が、キラリエ草津6階大会議室で開催される。それに向けての窯出しが行われ、会員の藤井建さんは「いつも窯出しはドキドキします。穴窯は炎の芸術です」と話していた。

作品展は午前10時～午後5時（5日は午後1時から、8日は午後2時まで）。

11月5日 読売新聞 しが県民情報

## 個性光る 陶芸700点

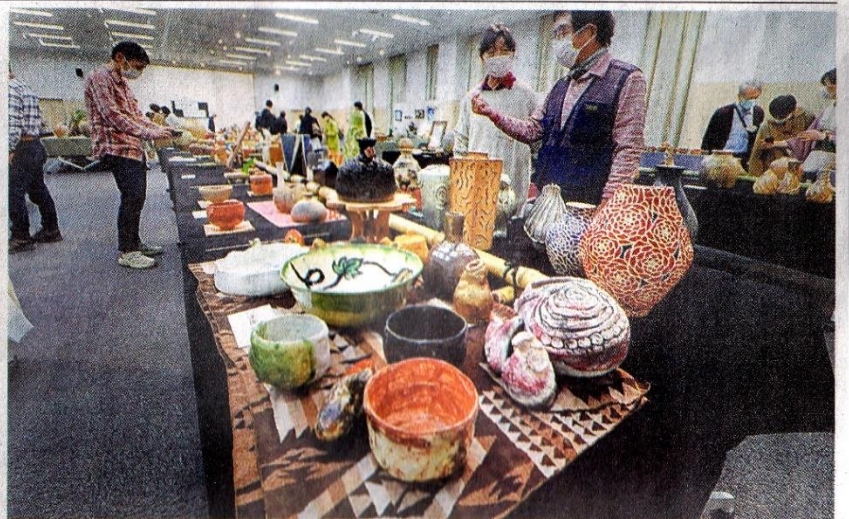
「山寺天井窯陶芸同好会」

草津で作品展

FAX 0748 (36) 7235  
彦根支局  
〒522-0074  
彦根市大東町13-1  
0749 (23) 6111  
長浜支局  
〒526-0059  
長浜市元浜町7-30  
0749 (63) 6111  
.....  
事業推進局 075 (255) 9755  
販売部 075 (241) 5928

草津市の「山寺天井窯陶芸同好会」の作品展が、同市大路2丁目の市立市民総合交流センター「キラリエ草津」で開かれている。花瓶や食器など力作約700点が訪れた家族連れらの目を楽しませている。8日まで。

同会では同市山寺町を拠点に市内や大津市などの陶芸愛好家61人が活動している。作品展は隔年開催し、今回で10回目を迎えた。会場にはとっくりやつばなど2年間の活動の成果を展示。第10回の節目に合わせて、ウサギやクジラなど動物をモチーフにした置物や、これまでに県展や



同好会メンバーが丹精込めた作品が並ぶ会場(草津市大路2丁目・市立市民総合交流センター「キラリエ草津」)

各市展に出品した優秀作品も並べた。同会世話役の内藤大次郎さん(74)は「今年には家族で来てほしい」と思って準備してきた。作品に浮かぶ作者の個性を楽しんでほしい」と話す。午前10時～午後5時(8日は同2時まで)。無料。(平野巧)

11月7日 京都新聞 朝刊

### 作品展企画委員

石黒丈雄、渡邊安之、内藤大次郎、内藤春生、家島健二  
亀山洋子、大西隆夫、山屋多津男、藤井建、小野猛彦



作品展概要

<https://vimeo.com/659281851>



全員360°写真

<https://theta360.com/s/fCa1GrRmCXYFnehznjIYmaZ4S?>



窯出し360°写真

<https://theta360.com/s/rnsGmXKV4aT0iIGCiVJITayUy?>

## 山寺天井窯 第10回作品展 アルバム

2022年1月10日 発行

制作 教野 弘孝



## 山寺天井窯 第10回 陶芸作品展

山寺天井窯陶芸同好会は陶芸好きの  
元氣シニアが草津市山寺町の草津川沿いに  
陶芸の場を築いてから23年になります。  
隔年開催の作品展も節目の10回目を迎えます。  
今回も素人ながらそれなりの自信作を出品しますので、  
ぜひご高覧賜りますようお願い申し上げます。

2021.11. 5(金) → 8(月)

●10時～17時（5日は13時から 8日は14時まで） ●キラリ工草津 ●入場無料  
後援：草津市教育委員会 ●問い合わせ先：亀山 090-2114-3925

陶芸同好会 山寺天井窯

〒520-0042

滋賀県草津市山寺町八反田957

☎077-567-0114